



## 地域に密着した消防団活動の推進

### 地域防災室

#### ○ 消防団の活動

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、火災や大規模な自然災害での活動のみならず、平常時における活動においても、地域に密着した様々な取組を行っており、地域の安心・安全を確保するために積極的に活動しています。

#### ○ 子どもからお年寄りまで対象に合わせた防火・防災啓発活動の実施

山口市消防団では、子どもからお年寄りまで、幅広く防火・防災に関する知識を身につけてもらうため、団本部予防隊の女性団員が保育園、学童、いきいきサロン、子育て広場など多くの施設や団体を訪問し、楽しく参加できる様々な手法を考案し、対象に合わせた啓発活動を行っています。

小学校で実施した防火講習会では、火事や地震の時どのように行動すればよいか子ども向けの紙芝居を上演しました。また、災害時にペットボトルで作成できる簡易ライトも一緒に作成しました。

「平川子育てつどいの広場ひらひら」で行った防火講習会では、乳幼児連れの母親と子どもたちに、火事や地震の時どのように行動すればよいかパネルシアター形式で上演し、子どもたちも一緒に歌いながら防火・防災に関する知識を身につけてもらいました。さらに、災害時、必要最小限の材料で温かく、おいしいものを作るサバイバルクッキングも実施し、参加者からも、おいしいと好評でした。

今後も、楽しく、分かりやすく防火・防災意識の一層の普及を図っていきます。



子育て広場で行った防火講習会でのペープサート（紙人形劇）の様子（山口市消防団）

#### ○ 女性・大学生消防団員による救命講習などを通じた地域ぐるみの防災体制づくり

松山市では、災害による被害を最小限に抑えるために

は、住民一人ひとりの防災対策の実践とともに、住民と地域の消防団・女性防火クラブ・自主防災組織・事業所等が相互に協力し合える地域ぐるみの防災体制づくりに取り組んでいく必要があると考え、「みんなの消防フェスタ・防災シンポジウム」を開催しました。このフェスタでは、女性分団員と大学生消防団員によるAEDの使用方法や心肺蘇生法の指導をする救急講習コーナーのほか、消火体験コーナー、煙体験コーナーなどの多彩な消防体験ブースを用意しました。

また、毎月、消防団員が託児・休憩スペースを利用する方などに応急手当の方法を教えるブースを設置する「まちかど消防・救急サロン」を実施するなど、広く市民に防火・防災について関心を深めてもらい、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。



女性分団員と大学生消防団員によるAEDの使用方法や心肺蘇生法の指導（松山市消防団）

このように、各地域の消防団は、地域ぐるみで参加できる様々な活動を積極的に実施しており、一人でも多くの住民に防火・防災について考えてもらう機会を設けています。こうして、「自らの地域は自らで守る」という自助・共助意識を再確認してもらい、今後発生が危惧されている大規模災害などへの備えを行っています。

今回、御紹介した地域に密着した消防団活動を継続して行う事で、防火・防災に対し、また、消防団に対して理解が広まり、一人でも多く、消防団員が増加することが期待されます。今後も、各地で実施する消防団の活動について、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

#### 問合わせ先

消防庁国民保護・防災部 地域防災室  
消防団係 佐久間、長谷川  
TEL: 03-5253-7561